

# クマの被害にあわないために!

西中国山地を中心に生息するツキノワグマは、環境省のレッドデータブックでは「絶滅のおそれのある地域個体群」として掲載されています。



- 出没地域にすむ人に
- 山菜・キノコ狩り・溪流釣りをする人に
- キャンプ・登山をする人に

島根県農林水産部森林整備課 鳥獣対策室  
〒690-8501 松江市殿町1番地 TEL0852-22-5160

## ツキノワグマの生活と人間活動



## ツキノワグマってこんな動物です

### ツキノワグマの特徴

- 体長** 110~130cm
- 体重** 50~100kg
- 臭覚** 敏感
- 聴力** 優れている
- 視力** あまりよくない
- 性格** おとなしい 内気 子連れの親は強気
- 特技** 木登り 水泳 走るのも速い
- 食べ物** ハチミツ、ドングリ、山菜（タケノコ、フキ、マタタビ、キイチゴ、ヤマブドウなど）が好物  
昆虫（アリ、ハチ）、サワガニ、木の若芽、葉里部に出没し栗、柿等の果樹を食べる。
- 習性** 急に背中を見せて走って逃げると反射的に追いかけてくるといわれている。  
(逃げるものを追いかける)



クマを目撃したり、出没した形跡があったとき、クマによる農林作物等の被害があったとき、クマの被害防止対策などクマについての相談・問い合わせは、最寄りの市町役場または県の農林振興センター及び地域事務所へ

- 東部農林振興センター 0852-32-5664
- 東部農林・雲南事務所 0854-42-9556
- 東部農林・出雲事務所 0853-30-5579
- 西部農林振興センター 0855-29-5604
- 西部農林・県央事務所 0855-72-9563
- 西部農林・益田事務所 0856-31-9572

# いちばんたいせつ 一番大切なことは、

# であ クマに出会わないようにすることです。

にんげん たべもののおいし  
**人間の食べ物の味を  
覚えさせないようにしましょう**



さんばん なま  
**残飯や生ゴミは、**  
放置したり、畑などに捨てないようにしましょう。クマを誘引する原因になります。

とさん  
**キャンプや登山、  
渓流釣り**で出たゴミは、必ず、持ち帰りましょう。残飯やジュース等の味をクマに覚えさせないことが大切です。

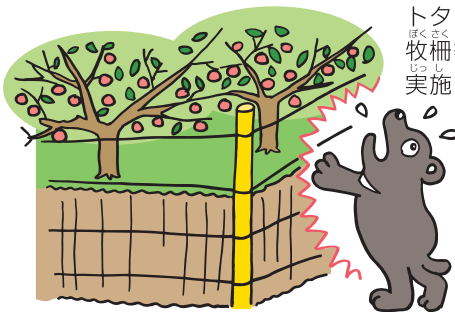


いえ  
**家の周辺にミツバチの  
巣を発見した場合は、**  
巣を撤去しましょう。

ぼあひ  
**ミツバチを飼っている場合は、**  
電気牧柵を設置するなど被害防止対策をしましょう。

かき  
**栗、柿などの果樹を栽培している場合は、**

トタンの巻き付けや電気牧柵等の被害防止対策を実施するとともに、クマの出没形跡に注意しましょう。



あ  
**危険な出合いを  
避けるようにしましょう**

クマはおとなしい性質なので、驚かさなければ、クマの方から逃げて行きます。生息地域では、クマと出会わないように気をつけましょう。

さんりん  
**山林に入る前には、**  
クマの出没情報を地元の人や市町村役場に聞きましょう。

さんりん  
**山林に入るときは、**  
二人以上で行動しましょう。また、鈴やラジオなどの音の鳴るものを身につけ、人間の存在をクマに教えましょう。

けいりゅう  
**渓流釣りでは、**水音や風向きで、クマも人もお互いに気付きにくくなります。常に周囲に気を配りましょう。

キノコ狩りでは、夢中になってクマに近づいてしまうことがあります。茂みに入るときは十分注意しましょう。

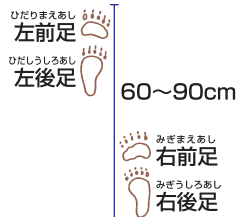
どうちよう  
**早朝や夕暮れ時は、**クマの行動する時間帯と重なります。鈴など音の鳴るものを身につけ、周囲の様子に気を配りましょう。

あしあと  
**足跡、糞などクマのいる気配を感じたら、**  
すみやかに引き返しましょう。



クマの糞

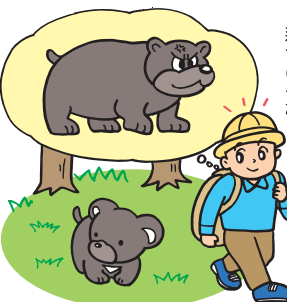
あしあと  
**<クマの足跡>**



であ  
**もし出会ってしまったら**

やせいで動物なので、絶対に安全といえる方法はありませんが、一般にいられている対処法を示します。

きづいていない場合  
**クマがこちらに気づいていない場合**  
気づかれないように静かにその場を立ち去りましょう。



こぐまを  
**見かけたら**  
近くに親グマがいます。危険ですので、速やかに安全なところへ立ち去りましょう。

きづいている場合  
**クマがこちらに気づいている場合**  
ゆっくり後ずさりして逃げましょう。背中を向けて走って逃げると、本能的に追いかけてきます。

しきんきより  
**ばったりと至近距離で遭遇**  
クマから攻撃を加えられそうになったら、受けるケガを最小限にすることが大事です。首、腹部、顔を守るために、両手を首の後ろに回して、うつむせになるのも一つの方法です。



であ  
**クマに出会って冷静に行動できる人は多くいません。  
出会わないことが一番大切です。  
クマのいる山では慎重に行動しなければなりません。**